

都市再生整備計画(指標目標値の設定根拠)

市町名	小牧市
地区名	小牧線沿線地区

地区の目標

■大目標	安全・安心で快適な居住空間の創出
□小目標	多様なニーズに対応した良好な住環境の形成による人口定着
	自動車に過度に依存しない歩いて暮らせるまちづくり
	災害に強い安全・安心なまちづくり

目標を定量化する指標

指標	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
①計画区域内居住率	計画区域内の居住人口 ／市全体の人口×100	良好な住環境形成による人口定着の達成状況を計画区域内居住率の変化で評価する。	21.1%	21.8%
②巡回バス利用者数	小牧市巡回バスにおける小牧・味岡循環右回り、小牧・味岡循環左回り、春日寺・市之久田ルートにおける1日当たりの利用者数	自動車に過度に依存しない歩いて暮らせるまちづくりの達成状況を巡回バスの利用者数の変化で評価する。	159,792人/年	191,750人/年
③安全・安心満足度	市民意識調査における小牧市は安全・安心でいきいきと暮らせるまちだと思ふ市民の割合	災害に強い安全・安心なまちづくりの達成状況を小牧市は安全・安心でいきいき暮らせるまちだと思ふ市民の割合の変化で評価する。	67.8%	75.7%

目標値の設定根拠

指標	根拠
①	基準年から目標年度における地区内居住率の増加 ・市全体の人口が減少する中で、計画区域内では区画整理事業等により人口を維持している。 都市再生整備計画事業により、区画整理事業や公園整備事業等を行うことで、計画区域内の居住率の増加をめざし、目標値を設定。
②	基準年から目標年度における巡回バスの利用者の増加 ・高齢化が進む中で、公共交通網の強化による自動車に依存しない歩いて暮らせるまちづくりが急務となっている。 市内の交通空白地の解消が求められるため、巡回バスのルート拡大による利用者の増加を目指し、目標値を設定。
③	市民意識調査における安全・安心満足度 ・東日本大震災以降、災害に強いまちづくり及び市民の災害に対する意識向上が求められている。 安全・安心な生活環境構築のための住民活動促進や土地区画整理事業の実施により、市民の満足度の向上を目指し、目標値を設定。